

整備中の新建物の概要

1 主な機能

○府民に京都の文化、歴史等に関する学習及び交流の場を提供

(1階:交流フロア。大ホール、小ホール、京都学ラウンジ、自主研究室等)

○京都に関する資料等を収集し、保存し、及び公開

(2階:探究フロア。現在の総合資料館閲覧室と府立大学附属図書館閲覧室、府立医科大学図書館閲覧室をワンフロア化)

○世界記憶遺産「東寺百合文書」をはじめとする本府所蔵の国宝、重要文化財などの貴重な資料を展示(1階:展示室)

○府立大学文学部(3・4階)

○収蔵庫(地下1・2階)

2 構造・規模

鉄骨造 地上4階地下2階(延べ床面積 約24,000㎡)

階 層	主な機能等
1 階	・ 国際京都学センター研究室、京都学ラウンジ ・ 大ホール(固定484席)、小ホール(可動99席) ・ 展示室 (240㎡) ・ 自主研究室 (90席) ・ カフェスペース、ホワイエ、事務室、光庭等 5,700㎡
2 階	・ 総合資料館閲覧室、府立大学附属図書館閲覧室 府立医科大学附属図書館閲覧室 4,300㎡
3 ~ 4 階	・ 府立大学文学部・大学院文学研究科実習室、演習室、 教員研究室 等 4,100㎡
地下1 ~地下2階	・ 収蔵庫、機械室等 9,900㎡

新建物の位置図

資料2

